

シュレーゲルアオガエル (学名: *Rhacophoridae schlegelii*)

[アオガエル科 アオガエル属]



▲ かんぼく 灌木にのぼるシュレーゲルアオガエル



▲ あぜ 田んぼの畦に産みつけられ泡に包まれた卵塊

田に水がひかれる只見町の5月、畦に白い泡の塊を見ることがあります。これは、シュレーゲルアオガエルの卵塊です。よく似たモリアオガエルは、同じような泡に包まれた卵塊を水際の樹上に産みつけます。シュレーゲルアオガエルは、目の虹彩が黄色あるいは金色に見えること、体長4～8cmのモリアオガエルと比べて3～5cmと小さいことで区別できます。また、ニホンアマガエルとも似ていますが、目の前後に黒い線がありません。卵は1週間ほどでかえ孵り、幼生(オタマジャクシ)は雨水などで泡と共に水中に流れ落ちます。変態した成体(カエル)が上陸するのは6～8月頃です。水辺にいるイメージのあるカエル類ですが、繁殖期以外の成体は樹林に生息する場合も多く、シュレーゲルアオガエルも灌木や草の上でくらし、冬は湿った浅い土の中で冬眠します。つまり、一年を通すと、水辺だけでなく、それに隣接する樹林、湿った土のある環境が必要で、只見町にはこの条件を満たす場所が豊富にあります。

只見町では、シュレーゲルアオガエルとモリアオガエルは区別されず「アオビッキ」や「セングーガエル」と呼ばれています。両種とも只見町の「町指定貴重野生動物種」に指定されており、成体・幼生・卵はいずれも採集しないよう呼びかけています。

特別企画展

「植物学者・河野昭一の世界～その生涯と只見」

期間：開催中(9月2日(月)まで)

会場：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

お問い合わせはブナセンターまで ☎0241-72-8355

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください